

議案第4号 隼人駅のバリアフリー化に伴う生活交通改善事業計画の策定について

平成31年度（バリアフリー化設備等整備事業）
「隼人駅（鹿児島県霧島市）生活交通改善事業計画」

1. 事業の目的・必要性

高齢者、障害者等の移動等の円滑化の促進に関する法律に基づく「移動等円滑化の促進に関する基本方針」において、1日当たりの平均的な利用者数が3,000人以上の鉄軌道駅については、「2020年度までに原則として全てについて、段差の解消、視覚障がい者の転落を防止するための設備の整備等の移動等円滑化を実施する。」旨が明記されている。

隼人駅は、平成29年度における1日当たりの利用者数は概ね3,300人であり、国の基本方針に掲げられた「段差の解消」を達成するため、エレベーター等の整備を行い、高齢者や身体の不自由な方などの移動手段について確保する必要がある。

2. 事業の定量的な目標及び効果

現在、駅改札（1番ホーム）と2番、3番ホーム間の移動については、跨線橋へ続く階段の上り下りが必要であるが、跨線橋への連絡部分にエレベーターを設置することにより、高齢者、身体の不自由な方をはじめとする駅利用者の利便性の向上が図られる。

3. 事業の内容と当該事業を実施する事業者

- ・ 主な事業内容・・・エレベーター・スロープ等による段差解消、エレベーターデッキ・旅客通路新設、誘導ブロック・内方線整備、盲導鈴新設、多機能トイレ、列車接近表示器等の整備
- ・ 事業者・・・・・・・・九州旅客鉄道株式会社

4. 事業に要する費用の総額（予定額）、負担者及びその負担割合

2019年度：30,800千円（設計費） 2020年度：209,467千円（工事費）

（単位：千円）

負担者	2019年度（設計）	2020年度（工事）
JR九州株負担額（総事業費から補助額を控除した額）	10,268	69,823
国補助額（総事業費の1/3）	10,266	69,822
県補助額（総事業費の1/6）	5,133	34,911
市補助額（総事業費の1/6）	5,133	34,911

※上表の国、県及び市の補助金については、予算の範囲内において交付を行うものとする。

5. 計画期間

2019年度：詳細設計を実施予定 2020年度：工事に着手し、事業完了予定

6. 利用者等の意見の反映

整備計画概要に関する内容のポスターを隼人駅に掲示し、整備内容に関する意見募集を行う。

7. その他

本計画については、国、県、市の平成31年度当初予算成立を前提とする。

バリアフリー整備計画図



その他整備内容
 ・誘導ブロック
 ・内方線
 ・風知案内板
 ・列車接近表示器
 ・盲導線
 ・2ホームEV防風スクリーン

西口駅前広場 1,600㎡
 (協定広場: JR用地 800㎡)

負付建物 (自由通路整備により支障予定)